

令和7年度 第一回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

＜議事要旨＞

■日 時：令和7年5月29日（木）14：00～16：00

■場 所：国営海の中道海浜公園事務所

■主な意見等

1) 公園の利用状況について（報告）

① 園内利用者数において大人・子どもの内訳はわかるか。[園内関係機関]

→ 資料では大人・子どもを含めているが、内訳の整理はしている。[園内関係機関]

2) 協議テーマについて

・「一体的な情報発信」、「多様な主体の連携」について（報告）

① 園内の情報を発信する上で、情報共有を行うことは大切である。メディアの方々は、発信するには他社の情報を確認して行っている。情報を発信していくことでメディアの方が関心を持たれ、新たな情報発信につながっていくので引き続き情報を流していくことを続けていただきたい。[有識者]

→ 現在はSNSが主流となっているため、SNSにおいての話題の分析を試行的に始めている。ウェブメディアも増えており、ウェブメディア向けPR会社と契約をし、福岡以外の九州のメディアにも情報発信範囲を広げる取組もしている。[園内関係機関]

② 園内機関と外部機関の連携について、多様な連携があるようだが、なぜ連携するのか、連携することで何を達成しようとするのかを共有することが必要である。

また、エリアごとに連携を変えていくのか、公園全体にかかる連携があるのか、そのあたりを明確にしておくことも必要である。

併せて、連携したのであれば効果の検証も必要である。参加人数が1つの目安であるが、参加者の評価や主体が感じた効果を整理すれば省力でたくさんの人に満足してもらえるような事が発見できる。

逆に、効果が上がらなかった時も連携の意味を考えて全体に紐付けてやらないと何のために連携しているか分からなくなるので整理しておいた方がよい。[有識者]

→ 今後は単に連携を増やすだけでなく、改めて、目的を明確にし、課題と達成状況の評価を行い、効果的に連携をしてまいる。[園内関係機関]

→ 資料に、うみなかビジョンと事業主体が取り組んでいくメニューについて記載があるが、今後これらを達成するために連携がどう機能したか、効果を発揮したか見えるようにしていければありがたいとご指摘いただいた。今後、その関係資料についての取扱いを工夫いただきたい。[有識者]

- ③ デジタルマップについて、自転車でどこまで行けるかとかバリアフリーのトイレ情報が一元的に見えるようになって使いやすくなっていると思う。他にもマップで園内バスの動線とか、リピーターを増やす目的で季節別のイベント情報・食の情報もこのマップで一元的にみられるようにした方がよりいいのではないか。

また、これらの情報が公園の入口の駅や駐車場で見られたり、QRコードで読み込めるものがあつたりするとよりわかり易く、園内を巡りやすいデジタルマップにしていけると良いのではないか。

また、このうみなかビジョンの積み重ね、達成度を今後見える化していただけるとありがたい。[有識者]

- デジタルマップについて、フラワーピクニック期間中は、園内の花の情報やイベント情報に飛ぶようにバナーで対応している。食についても選択のカテゴリーに入っており、メニューについても対応している。

このデジタルマップについては、この春からの本格施行をしている状況であるが、今後もお客様からの声も参考に適宜改良を進めていきたいと考えている。[園内関係機関]

- ④ 駐車場混雑情報をリアルタイムでいただいていることは助かっているが、デジタルマップを見て駐車場の場所を決めている人の割合はわかるか。[有識者]

- デジタルマップのアクセス数はわかるが、駐車場情報を見ているかまではわからない。システムでは、リアルタイムの駐車場情報を掲載している。その他、スマートフォンが苦手な方のために県道に臨時で看板を設置したり、高速道路情報のように事前混雑予想も発信したりして情報提供をしている。併せて公共交通機関でお越しくださの呼びかけもしている。[園内関係機関]

- 公園利用者の来園交通手段は7割強が自家用車で来園している。[園内関係機関]

- 今後、車でアクセス数や駐車場の満車日数が1年でどれくらいあるのかの資料も提供いただけるとありがたい。[有識者]

・「インバウンド」について

- ① 今後のインバウンドへの情報発信の取組として、海外プロモーション等を行っていく予定とあるが大変難しいと思う。

まずは、既に海外プロモーションをされている福岡市コンベンションビューロー・福岡県観光連盟の情報の中に海の中道の情報を入れていただき発信されれば、インバウンド観光客の中で関心を持つ方が増えるのではないかと思うのでご検討いただきたい。引き続きインバウンドに積極的にアプローチをしていただきたい。[有識者]

- 福岡市、福岡県が情報を発信していく中に公園の情報も更に入れていただけるよう、やり方やタイミングを確認していく。[園内関係機関]

② 地元の人が公園に行かない時は、公園があまり楽しくない時だと思う。そんな時に来られた海外の方もきっと楽しくなくて、国に戻ったときネガティブな宣伝をされてしまうことが危惧される。閑散期に来園された外国人利用者が公園に対してどのような感想を持たれたか調査いただくことは可能か。[有識者]

→ 現在利用者満足度アンケートを取っているので、外国人へのアンケート内容に、その項目を追加することを調整していく。[園内関係機関]

→ 海外の人は必ずしも人が多いところが好きとは限らない。日本人は人が少ないと人気がないところだと損したように思いがちであるが海外の人は必ずしもそうではない。その認識でアンケートを取った方がよい。閑散期でも楽しいという人はいる。[有識者]

→ アンケートを整理すれば、閑散期の園内整備方法や全体的な来園者の底上げ対策にもつながると思う。[有識者]

③ 来園者を増加させるためにインバウンドを利用するのは分かるが、増加することによるデメリットはないか。インバウンド観光客による福岡市の公園に設置されたトイレ利用が問題になっていると聞いている。[有識者]

→ 海外の方のトイレの使い方に文化の違いがあると思うが、使用方法については問題となっている。現在、運行会社への啓発、日本のトイレマナーの周知、清掃等に宿泊税を充当してトイレ対策をしている。[福岡市]

→ 海の中道海浜公園で同様の問題はるか。[有識者]

→ 現時点では、海の中道の公園内で問題は確認できていない。[園内関係機関]

→ オーバーツーリズム問題は、まれにあり、同様なトイレが汚れている事例もある。一方で、インバウンドの方には、レストランは多く利用いただいている状況である。我々としては、お客様に満足もしていただきつつ客単価を上げる努力もしている。

[園内関係機関]

→ インバウンドの増加について、現状は大きな問題になっていなくても、将来大きな問題になる可能性があるということを前提に今後の管理計画を検討していただきたい。

[有識者]

④ 園内のレストランにおいて、ハラル、ビーガン等の国によっては食べられないもの対応はされているか。

また、「うみなかたび」のアクセスマップを英語版に対応させたほうが良いと思う。

[有識者]

→ 食の対応は、お客様に確認し、それに合わせて随時行っている。まな板にも気を遣って食べられないものが入らないような対応もしている。[園内関係機関]

→ 「うみなかたび」について英語版はまだ対応ができていない。今後、対応する。

[園内関係機関]

3) 各主体における将来像に向けた取組状況（報告）

・全体を通じた意見

今回の会議において皆さんが全体のビジョンについて汗をかいている状況が分かりやすく、取組も進化している事が分かった。

今後、会議において短い時間で状況を把握するために、魅力化事業全体としての状況の説明をいれていただきたい。[有識者]

→ 次回以降は進捗が芳しくないなどポイント絞る等、全体をわかりやすく説明できるようにしたい。[園内関係機関]

海岸部にアマモが現存している場所がある。周辺では他にはないので、今後開発する時のPR材料になると思う。弊社としてもどこまで生息しているのか把握したい。[園内関係機関]

→ 過去に、環境調査を行っているので、今後整備計画時に取扱やニーズ等の相談をさせていただきながら計画していく。[園内関係機関]

各関係機関で悩んでいるところ、課題に感じていること、こういう人に来てもらいたいが、こういう所が難しいなどの話を共有して意見交換をし、どう連携できる可能性があるかなど話し合いができればより良いものになると思う。[有識者]

→ 今後、課題の共有をしながら積極的に相互にアドバイスできる場にできればと思う。
[有識者]

—以 上—